

1999年11月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度場では、極渦は分裂し、中心は中央シベリアの北極海沿岸とグリーンランド北西部に見られた。大西洋、ヨーロッパからシベリア西部、東アジア、太平洋中部、北アメリカでは正偏差が分布した。一方、中央アジア付近、シベリア東部からアラスカ、太平洋東部、グリーンランド付近では負偏差となった。偏西風は、太平洋中部では、平年に比べ5度ほど北偏し、平年よりも強かった。大西洋からヨーロッパにかけては南北の分流が明瞭で、アフリカ北部から西アジアにかけては平年より北偏していた。日本付近の強風軸は平年並の位置にあった。200 hPa における速度ポテンシャルの分布図では、大規模発散域の中心はニューギニア島の北部にあり、平年より西に15度、南に5度ほど偏っていた。南アメリカの発散域の中心は平年より南東に10度ほど偏っていた。SOI(南方振動指数)は+1.1と先月に引き続き、大きな正の値となった。

世界の天候

① ロシア西部の低温

② ヨーロッパ東部の多雨

月降水量はヨーロッパ北部とフランス以東で多く、一部で異常多雨となった。フランスのペルピニャンで

255 mm (421%)。中旬以降、ヨーロッパ各地で大雨、大雪、暴風などの被害が報じられた。

③ ヨーロッパ北部の高温

④ 米国の高温

月平均気温は米国で広範囲で異常高温となった。米国のデンバーで8.6°C (+4.7°C)。

⑤ 米国中部の少雨

月降水量は米国中部で異常少雨となった。米国のニュー・オーリンズで7 mm (6%)。

⑥ カリブ海周辺の高温

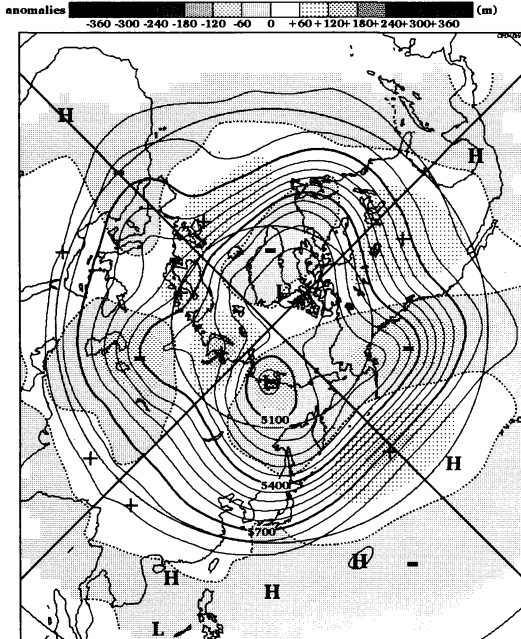
⑦ アルゼンチン北部の低温・少雨

月平均気温はアルゼンチン北部で異常低温となった。アルゼンチンのカタマルカで22.9°C (-2.6°C)。月降水量はアルゼンチン北部の一部で異常少雨となった。アルゼンチンのパラナで14 mm (12%)。

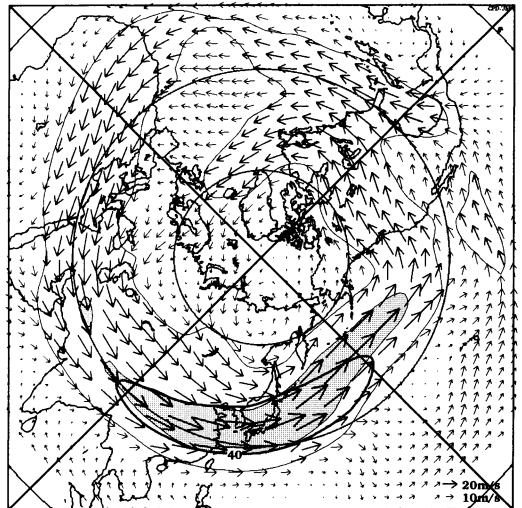
⑧ オーストラリアからインドネシアにかけての低温

月平均気温はオーストラリアからインドネシアにかけて異常低温となった。オーストラリアのロングリーチで24.4°C (-3.6°C)。

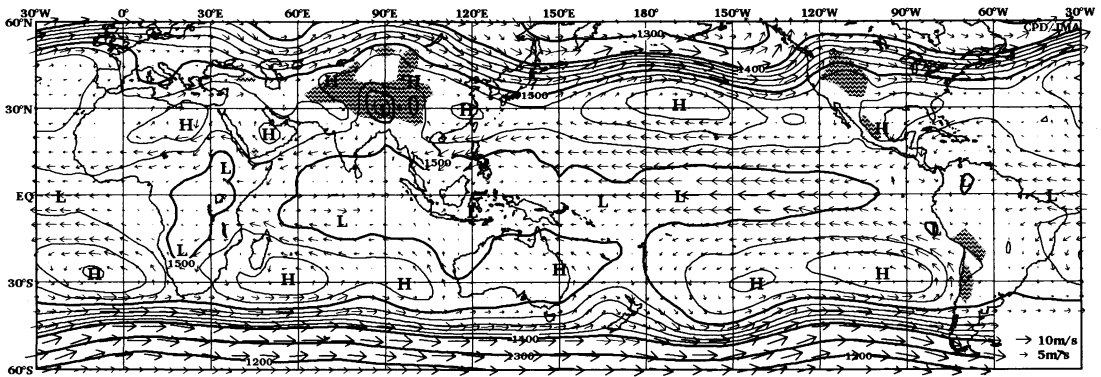
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 兼城 薫)



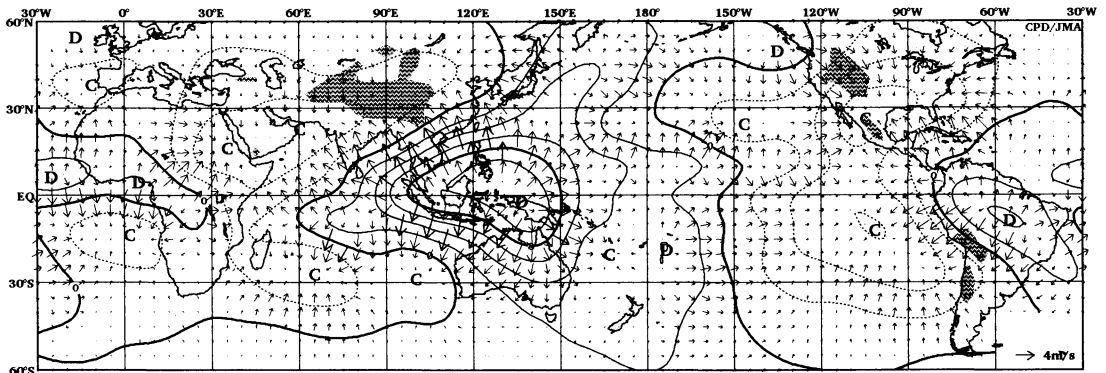
1999年11月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差
等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m. 平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。



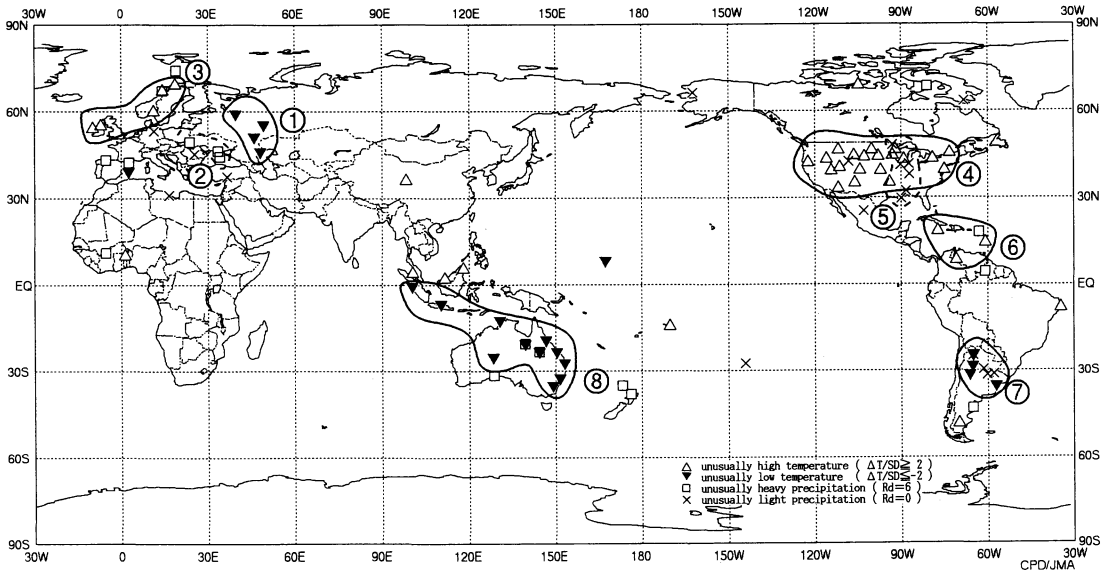
1999年11月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル
等値線間隔は20 m/s. 陰影部は平年で40 m/s以上. 平年値は1979~1996年のデータに基づくもの。



1999年11月の月平均 850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は 20 m (1400 m までは 100 m)



1999年11月の月平均 200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1999年11月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.